

<横浜市議員(旭区選出) 古川なおきの市政活動報告>

第70号
2007年8月1日
- 月刊 -

古川なおきレポート

古川レポート 編集部 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50
TEL.045-391-4000 FAX.045-366-9700 naoki@fukurawa2002.com

地球環境を考えよう!

暑い日が続いていますが、皆様お元気ですか?

参議院選挙も終わりました。しっかりした年金システムの構築と政治資金の透明性を高めなければならないと感じています。今回の選挙では、政治に対する不信感が頂点に達したために政策選挙にならず、未来に向けての環境や子ども達の教育のことがあまり議論されなかったことは残念に思います。

そこで、7月・8月合併号のテーマは「環境」です。最近の台風の大規模化などの異常気象は地球の温暖化が原因と考えられています。私たちが知らない間に大気も海も山も環境破壊は地球規模で進んでいます。我が国は京都議定書に掲げる二酸化炭素などの温室効果ガスを6%削減することが国際公約ですが、90年度比6%減の目標に対して、2005年度の排出量は逆に8%も増えてしまいました。政府をはじめ官民の総合的な対策が強く求められます。EUや英国などが積極的に二酸化炭素削減に取り組んでいる中、我が国も環境立国としてリーダーシップを取り、中国やインド等アジアの国々にも地球温暖化対策で協力すべきだと思います。

ところで、横浜市でも地球温暖化対策地域推進計画を定め、さまざまな対策を取っています。私が注目しているのは「横浜市風力発電事業」です。下の写真にもあるように神奈川区の瑞穂埠頭の先端に118mの風車を設置しました(約5億円)。見たことがある人も多いと思います。年間約300万kWh発電され、一般家庭の年間消費電力の約860世帯分に相当します。私はこの風車を見るのが好きで、遠くから風車を見ているとずっと地球環境のことを考えなければと思います。環境対策は政府や企業の取り組みが大きいのですが、政府も企業も一人一人の人間が集まって意思決定をするので、最終的には私たち一人一人が自分のこととして考えることが大切だと思います。「夢に日付を入れよう」と言う教育再生会議委員の渡邊美樹氏の夢は世界共通の環境の教科書を作ることです。「健全な地球がなければ、株主も顧客も社員も存在しない」とパタゴニア社創業者のイヴォン氏は、ビジネスは地球環境に対して責任があると主張しています。私もまだまだ行動が足りませんが、関内にある横浜市会には車を使わず電車で通うことや書籍カバーを断りそのまま靴に入れること、暑い夜も窓を開けてエアコンをなるべく使用しないことなど、できることから行動しています。そして、政治家として地球環境のことを常に優先し様々な施策に取り入れたいと思います。今は自転車の利用促進策などを考えています。既に地球環境に優しい行動をしている人も多いと思いますが、皆様も

提供：横浜市環境創造局温暖化対策課



環境のために何か取り組んでみてはいかがでしょうか? 意外と気持ちいいものです。

どうぞ楽しい夏休みをお過ごしください!

横浜市議員 古川 直季

※環境を考える本を2冊ご紹介させていただきます。
「不都合な真実」 アメリカ元副大統領アル・ゴア著
「社員をサーフィンに行かせよう」
パタゴニア社創業者イヴォン・シュイナード著

古川なおきプロフィール

昭和43年8月31日横浜市生まれ 38才
県立希望ヶ丘高校・明治大学卒業
横浜銀行勤務後、議員秘書となる
平成7年横浜市議員初当選(26才)
平成19年道路・安全管理委員会
副委員長
同 青少年市民スポーツ特別委員会
自民党横浜市支部連合会女性局長日本動物福祉協会横浜支部支部長
鶴ヶ峰商店街協同組合顧問
希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会評議員
旭区スポーツダンス協会顧問
旭区サッカー協会顧問
旭区卓球協会顧問
NPO法人スクール・エイト・ジャパン理事
卓球本間クラブ所属
横浜青年会議所(JC)
明治大学公共政策大学院在学中

マザー・テレサ メモリアル

没後十周年・記念上映会のご案内

古川なおきレポート66号で特集したマザー・テレサ氏の没後10周年を記念したイベントが行われます。古川なおきも大変に感銘を受けたドキュメンタリー映画です。当日は古川本人も参加しますので、一緒にいかがでしょうか。イベントに参加できない方は、同ホールで9/15から公開されるドキュメンタリー2部作をぜひご覧ください！

2007年9月5日(水)

マザー・テレサ十周年忌日

会場：東京都写真美術館ホール
恵比寿ガーデンプレイス内

開場：17:20

開演：17:45(終了20:50予定)

記念上映会チケット：1800円(税込)

東京都美術館 te03-3280-0098

及び チケットぴあにて発売中

提供：プレジディオ
企画協力：フィールドワークス
主催：ナインマイルズ

第1部：映画「マザー・テレサとその世界」

日本人監督・千葉茂樹氏が、マザー・テレサの活動していた環境、その世界に入り込み、生き様を追ったドキュメンタリー映画。マザーの思い…命の尊さ、平和への思いが伝わる作品。

第2部：座談会「実践する愛：マザー・テレサの言葉を継ぐ」

現代の世界にこそ切実に響く、マザー・テレサの言葉。マザーの言葉とその生き方を軸に、その精神を象徴する「実践する愛」をテーマにして進行する座談会。

予定ゲスト：アグネス・チャン氏、千葉茂樹監督、山本雅基氏

第3部：映画「マザー・テレサ：母なるひとの言葉」

インド政府によるマザー・テレサ国葬の様態を軸に、生前のマザーが自ら語る言葉を記録した映像と、その言葉を継ぐ者たちの証言で構成された日本初公開となる意欲作。

没後十周年記念・ドキュメンタリー2部作

マザー・テレサメモリアル

母なることの由来+母なるひとの言葉
—デジタル復刻版—

9/15(土)より2作品同時公開

～東京都写真美術館ホールにて～
www.motherteresa.co.jp

地震に備えて

今、あらためてご家庭で確認しませんか？

7月16日に「中越沖地震」がおきました。亡くなられた方とご家族には心よりご冥福をお祈りいたします。地震は日本に住んでいる限り避けることのできない、いわば宿命的な災害です。このような状況で生活をしていく上で皆さんも地震について真剣に考え、十分な知識を持ち、日頃の備えを万全にしておくことが不可欠です。「大地震が起きた」その時に良い対処の仕方を知っているかいないか、あるいは、そのために日頃から準備しているかいないかによって、災害によって受ける被害に大きな違いがでできます。

- ・家具、大型電化製品、ガスボンベは、壁に密着させ固定、ブロック塀の補強をしておきましょう。
- ・転倒防止器具は大きさにあったしっかりしたものを取り付けましょう。
- ・寝室に大型家具を置かないなど、家具の配置を見直してみましょう。
- ・家具の上には、物を置かないようにしましょう。
- ・玄関や廊下は、広く開けておく。
- ・木造家屋は、耐震診断を受け補強しておきましょう。
- ・水バケツ、消火器を身近な所へ置いておきましょう。
- ・風呂の水は常にためておく。
- ・停電になったり、ガラスの破片で裸足では歩けなくなる恐れがあるので、寝室に懐中電灯とスリッパを置いておきましょう。
- ・家族防災会議を開いて、①非常持ち出し品をリストアップしてみましょう。

②家族がばらばらになった時に落ち合う場所や、連絡方法を決めておきましょう。

③災害時の役割分担を決めておきましょう。

④避難場所まで実際に歩いて行って途中、注意する場所等を確認しておきましょう。

水は1人1日3リットル
食料は大人1人1日
2000Kcalを目安に！

3日分の 生活必需品 を用意しましょう！